

活動基本方針と年間事業計画(案)

NPO 法人「八幡たけくらぶ」が認証・設立され今年で18年目の年で、設立20周年に向け引き続き充実した年にしたい。基本的には、これまでの取り組みと大きく変わるものではないが、今まで実施してきたものを今後も継続する中で、より充実感ややりがい感が持てるよう取り組んでいきたい。たけくらぶの高齢化が進む中で、近年女性会員(33%)が増加し展望の館での自主活動の増加や各サークル活動が活発化してきた。また、これによる効果か展望の館での竹細工販売がコロナ禍で一時減少していたが、昨年度は過去最高となり、会員の皆さんの「生きがい・やりがい」を感じて楽しく活動できる場として定着してきた。

計画が遅れている八幡市が掲げる「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略(新・空中茶室)」が具体的設計の年とされており、我々の活動拠点である展望の館をより活動しやすい場として八幡市との協議を進める。また、本来の取り組みで有る竹林整備について、安田竹林に於いて2年目の交付金申請を行ったので計画的に整備を実施する。

I. 竹林整備活動

- ① 既存竹林の整備・・・内里竹林については、竹林の所有者である長村吉朗氏より、令和8年2月末を以って契約の解除の申し出があった。よって、内里竹林を除く現在整備中の石清水竹林、安田竹林、円福寺竹林、島田竹林、小谷竹林、展望台竹林、本妙寺竹林の7竹林に勢力を注ぐ。また、安田竹林が多面的機能発揮対策交付金対象2年目で、昨年度は他の竹林と振替で実施していたが、令和8年度より計画的に整備を行うために単独日で実施する。これにより石清水竹林は毎月5日、安田竹林は毎月20日、島田竹林は毎月15日、円福寺竹林は毎月25日、展望台竹林は毎月30日で例年通り月1回とし、小谷竹林と本妙寺竹林は毎月10日の同一日として隔月で実施する。
- ② 新規竹林の整備・・・今まで通り要請があれば有償にて対応し環境保全に役立つ内容とする。(整備・粉碎等で短期間終了のもの)
- ③ その他新たな基金活用事業・・・安田竹林が令和9年度(3年目)で終了となっており、それ以降で新たな基金事業として円福寺竹林を検討する。

II. 安全活動

- ① 「自分の安全は自分で守る」を基本に月1回の安全委員会を開催し、ヒヤリ・ハットを活用した事故の再発防止等会員の安全確保に向けた取り組みを継続して実施する。
- ② 新会員を中心とした安全講習会を年1回開催し、加えて機器取扱い等の実地教育を継続実施する。
- ③ 竹林整備未経験者の会員に対して安全委員を中心としたベテラン会員が現場で安全な整備方法を指導する。
- ④ 昨年京都府では、7月上旬から9月上旬の間に40回の熱中症警戒アラートが発表された。たけくらぶでは、熱中症アラートが発表された場合は、竹林整備活動は中止すると共に作業中の熱中症対策もしっかり実施する。

Ⅲ. 同好会活動

- ① 竹細工同好会・・・従来の竹細工サークル、燻竹サークル、竹籠サークル、竹紙サークルをさらに充実させ、竹の有効活用を図る。また、各サークル全体で展望の館での販売促進に努める。竹紙・竹籠については本格的販売を開始する。
- ② その他の活動・・・毎週木曜日を竹細工の自主作製日として継続実施し、多くの会員の方に竹細工を楽しんで貰うと共に新たなたけくらぶ専用商品作製にも取り組む。また、イベント用の竹あかりも計画的に作成する。

Ⅳ. 展望の館及び庭園の活用

- ① 竹細工体験教室の拡大(従来の教室に加え竹灯り作製・竹紙作製・竹籠作製)に向け協力者の強化を図る。
- ② 展望の館周辺については、今まで通り毎月1日を定例活動日とし、加えて定例で第2水曜日と第4水曜日を庭園整備日として四季折々の草花の維持管理をする。
- ③ 八幡市が掲げる「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略(新・空中茶室)」の実施計画年度に当たり市と連携を強化してたけくらぶの意見を反映して頂くよう協議する。合わせて庭園内の老桜についても計画の中で対応できるよう八幡市と調整を行う。

Ⅴ. 活動資金の調達

- ① 交付金の継続申請・・・令和8年度は安田竹林を「里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金」の2年目として申請を行った。具体的には、全体を3年に分けて計画し今年度は2年目の0.8 haで許可後具体的整備体制を構築し計画的に実施する。
- ② 竹細工教室、イベント活動等を通じて今まで通り活動資金の一部を補完する。
- ③ 竹林整備、粉碎作業、その他の収入を検討する。
- ④ 近年、次期繰越額が減少傾向で有りことから、資金調達計画を立て新たな交付金申請を検討する。

Ⅵ. その他

- ① 文化交流活動・イベント活動・広報活動・自然環境保全の為の活動については従来どおり実施する。
- ② 里山再生協議会事業に参画し、年2回の男山散策路整備に協力する。
- ③ 会員の親睦については、今後も引き続き実施する。